こんにちは健保組合です！

第83回 事業所訪問

有限会社神谷運送店（成田市）の巻

社員からも愛され地域とともに発展する企業

スポーツの祭典「オリンピック」がパリで開催されました。各競技の模様や会場を盛り上げる観客の様子がメディアから伝わると、異例づくめであった東京オリンピックから日常が戻ってきたと実感します。日本のメダル獲得数は金メダル20個を含む45個、海外開催のオリンピックでは過去最多を更新し、選手の堂々たる活躍は私たちに夢と感動を与えてくれました。４年後の開催地はアメリカ・ロサンゼルス。日本人選手のますますの躍進に胸を膨らませます。

★　★　★

成田国際空港開港を機に航空貨物郵送にシフト

第83回目の訪問先は、有限会社神谷運送店（神谷修一社長）です。千年以上の歴史を持ち、毎年、多くの参拝者で賑わう成田山新勝寺や、日本を代表する空の玄関口、成田国際空港からほど近い場所に本社があります。

神谷運送店は昭和43年に設立されました。神谷社長は父親である先代社長から平成９年に事業を受け継ぎました。

設立当時は地元で採れた農作物や肥料などの運搬を生業としていましたが、昭和53年の成田国際空港の開港を契機に航空貨物輸送にシフトしていきました。現在は、成田市内にある製薬メーカーを主な取引先とし、関東圏を中心に配送業務を行っています。また、グループ企業である有限会社神谷倉庫（昭和57年設立）は、神谷社長が兼業し、航空貨物などの保管倉庫業も手掛けています。

▲神谷社長（右）と神谷経理担当

人手不足問題を従業員の処遇改善につなげる

はじめに、運送業界の長年の課題である人手不足について、神谷社長は、「人手不足は深刻な問題ですが、従業員の大半が地元の住民であるため会社への定着率は高く、従業員の協力もあり会社をささえてもらっています。今後は若手不足の解消が課題です」とお話しいただきました。

人手不足問題の話のなかで話題に上ったのが、「物流２０２４年問題」についてです。２０２４年４月からトラックドライバーの時間外労働が上限９６０時間に規制されることになりました。規制により１日に運べる荷物の量が削減、事業者の売上やドライバーの収入減少を招き、「業界離れ」、つまり、ドライバー不足になることを懸念されています。規制の適用から数ヵ月経過した現状を伺ったところ、神谷社長は、「この問題は業界にとって一つの契機（起爆剤）ととらえています」と断言されました。そして、「取引先への適正運賃の交渉が進み、従業員の処遇改善につながることで、有能な人材が集まり運送業界の活性化が進むことが理想です」と付け加えられました。

同社では週休二日制を導入し、仕事と私生活の両方を充実させて相乗効果を生み出す「ワーク・ライフ・バランス」を実践しています。一方、労働時間の短縮は売上減少に直結します。現状の給与水準を維持するために、運送コストの削減は

▲出発を待つトラック

必須です。そこで、従来から導入しているデジタルタコグラフをさらに活用し、ドライバーの運転状況の分析、安全運転・エコドライブの指導を「見える化」し、燃料コスト削減と業務効率化を図っています。さらに安全対策として、年に数回の全体会議、定期的な各部門別のミーティングに加えて、同業者や取引先との情報共有の場を設けて、事故防止に努めているそうです。

従業員とその家族は神谷社長の家族と同じ

社員教育や社員同士の交流については、神谷社長はコミュニケーションを大事にし、日頃から従業員との会話を心掛けているそうです。食事に誘うこともしばしばで、同社の敷地内で、従業員とその家族を交えてＢＢＱ大会を催すこともあります。神谷社長にとって、従業員やその家族はかけがえのない宝物なのだと感じました。従業員の定着率が高いことも納得です。

今後は、これまでの事業を継承し地域に貢献するなかで、新しいリーダーにバトンタッチしていきたいと考えているそうです。神谷運送店は４年後に設立60周年を迎えます。神谷社長は、従業員の労をねぎらうため、記念事業の企画を練っているそうです。「地元密着」企業として、70周年、80周年と引き続き地域活性化に寄与することを祈念しています。

趣味の野球を生かして地域活性化活動も

最後に、ご自身の趣味や健康管理についてお答えいただきました。神谷社長は、学生時代から野球に励まれ、現在もシニア野球で汗を流され運動不足解消に努めています。千葉ロッテマリーンズ成田後援会の事務局長として、野球の地域活性化にも取り組まれています。高校野球では球場に足を運ぶほど熱の入れようです。また、趣味は電車旅とのこと。中でもかつて訪れた、車窓から観た京都の町並みや自然は記憶に鮮明に残る光景だそうです。食事面では、日頃から野菜中心の食事を心掛けています。経営者としての重圧とストレスは計り知れないことと思いますが、神谷社長には体調管理に十分留意され、ますますご活躍されることを願っております。

▲阪神甲子園球場にて

★　★　★

取材中に垣間見る神谷社長の笑顔には、どこか人を和ませる魅力を感じました。笑顔の絶えない取材時間はあっという間に過ぎ去り、和やかな雰囲気のなか取材を終えました。帰り際、同社からほど近い場所に建設予定の成田国際空港の新滑走路や、高速道路インターチェンジの場所をご案内いただきました。近隣開発が進み成田空港周辺地域のますますの活性化が期待されます。

神谷社長はじめ従業員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

神谷運送店のますますの発展を祈念いたします。